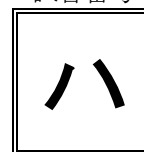


平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号



男子・女子 3回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 スカイホール豊田A コート

<p>浦添</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>	<p>42</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>19 — 18</p> <p>23 — 16</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>7mTC</p> </div>	<p>34</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<p>小松工業</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>
--	---	--	---	--

沖縄独特の指笛が会場に響きわたる中、浦添のスローオフで試合開始。最初に流れをつかんだのは小松工業。運動量のあるディフェンスから速攻で先制する。対する浦添も速攻で対抗するも、小松工業の速攻に足が追いつかず、警告をもらう展開に。その後小松は速攻をからめ4連取、続いて5連取と小松のワンサイドゲームになるかと思いきや、浦添のしかけたWマンツーマンDFによってリズムが崩れ始める。浦添はこの好機を見逃さず4番8番の速攻やカットインを含め連続得点に成功。前半残り7分過ぎには15-15の同点に追いつき、19-18浦添リードで折り返す。後半追いつきたい小松だが浦添4番の個人技や速攻で連続得点を許してしまう。たまたま小松は3回目のタイムアウトを請求。その後小松は浦添のキーマン4番にマンツーマンDFをしかけ、一点差まで詰め寄る。その後両者とも運動量が落ちず、一進一退の攻防が続くが、浦添が高いDFからの速攻で逃げ切り、浦添勝利で試合終了。